

木馬会会報 (第 1 3 2 号)

* 天皇賞・春特集 *

00/04/28

～木馬達の予想～

本紙 ラッキー

◎…テイエムオペラオー、ナリタトップロード △…ラスカルスズカ、ステイゴールド、ホッカイルソー

(本紙の見解)

今年から外国産馬の出走が可能になったのにグラスワンダーがあっさり回避し、長距離の本家メジロの番頭メジロブライト、旧御三家のセイウンスカイ、新御三家のアドマイヤベガが揃って回避となれば、オペラハウスの最高傑作かつ唯一の傑作であるテイエムオペラオーが悲願の盾を取る。

皐月賞を大外ゴボウ抜きした後、東京優駿、菊花賞、有馬記念と強い競馬をしながら、どうして勝てないのか不思議である。淀の3200mは誤魔化しの効かない舞台、実力通り強い馬が勝つはずであり、そうあってもらいたい。「驚異の底力を持つブルードメアサイアー」ブラッシングルームの血がマヤノトップガンを彷彿させる。

相手だが、本紙はナリタトップロードと心中する。日本を代表するマイラー「サッカーボーイ」にアメリカの三冠馬「アフームド」という粹な配合な上、3冠の中で一番勝てそうに無かった菊花賞を先行策で押し切った「常識が通用しない馬」である。良馬場、同斤量ならば、テイエム以外には負けられない。

その他では、母が希代の快速男を産んだワキアに父が驚異のジリ足産駒生産馬コマンダーインチーフだけに全幅の信頼は置きにくい、が、「平成の盾男」豊が魅力のラスカルスズカが割って入るか。結局菊花賞、阪神大賞典同様3頭の争いになる。

紛れればステイゴールド、馬場が渋ればホッカイルソーと言いたいところだが、実力通り4、5着確保が精一杯というところか。

今週の格言…春の盾は菊花賞、阪神大賞典を参考に

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎テイエムオペラオー、○ナリタトップロード、▲ラスカルスズカ

いよいよ天皇賞である。当然テイエムが◎。3強対決と言われているが、テイエムVSナリタ・ラスカルであり、1強であると思う。京都記念ではナリタより1キロ軽かったとか、阪神大賞典はやや重が有利だったとあるが、そんなものは関係無く完全に勝負付けは済んだと見ている。大げさに言えば鳥肌が立つほどの強さだった。無理に死角を探せば、ステイヤーズSに出走したことによる疲労蓄積だけだと思うが、そんなことは陣営は百も承知であり、いらぬ心配。どんな勝ち方をしてくれるか？

相手はナリタ。阪神大賞典が3着だったとはいえ、ラスカルより2キロ重く、ゴール前では詰め寄っていることを考えれば、今回は逆転可能。京都になるのも有利だろう。

さて、ラスカルだが、テイエム・ナリタより2キロハンデをもらっているが阪神大賞典を勝てないようでは、2頭とは差があると判断せざるを得ない。いくら武の腕が加わるといっても、ここも3着までか。

メニーフレンズ

僕の予想は穴だらけ。

一見、つまらない天皇賞。三強(二強)の力が抜き出ているように見えるだけに、買いにくいレースであることは間違いない。でも、「アラ」を探せばいくらでもあり、三強のうち、1頭しか連に絡まないことは十分考えられる。

1. 未知の「3200メートル」

マイルと1800メートルでも、全く違う競馬になる。当然、3000メートルと3200メートルは別もの。

2. 三強の牽制し合い

前走のナリタの「追って届かず」を見ると…

3. ラスカルスズカの58キロ及び天皇賞との因縁

e t c . . .

そこで、私の本命は、トシザブイとステイゴールド。前者は、前々走の万葉ステークスは、ラスカルの2着(0.2秒差)、前走の阪神大賞典は、テイエムと1秒差。しかし、馬体重は毎回、増えている。つまり、まだ成長過程にあるということ。その点に賭けたい(単純だなあ)。後者は、ただ単に面白い馬だから、応援したいだけです。どちらにせよ2着候補。

春の天皇賞といえば、10数年前のクシロキングーメジロトーマスの馬券以来、割にゲンのいいレース。そろそろ下位脱出を図りたい。

◎トシザブイ、ステイゴールド

△テイエムオペラオー、ナリタトップロード、ラスカルスズカ

栄蔵の一番弟子 TP

◎…テイエムオペラオー、ナリタトップロード、ラスカルスズカ

△…ステイゴールド

何も書くことはない。買うはずもない。

どうも、調子が悪かったので、1週休んだ。今週から復活するかな？現在の回収率90.8%

予想はウソヨ 四国の井崎

テイエムオペラオー	-3.0 -0.2 +0.9 A
ナリタトップロード	-3.6 -0.2 +0.5 B
ラスカルスズカ	-0.5 -1.5 +0.5 C
ステイゴールド	-1.0 -0.4 -0.1
ホッカイルソー	-0.1 -1.7 -1.4
レオリュウホウ	-2.3 -1.0 +0.1

ここはもうテイエムオペラオーで強い！阪神大賞典を1人気で1着し天皇賞で1人気または2人気にな

った馬は、この10年間で91年、92年メジロマックイーン、97年マヤノトップガン、98年メジロ
 ブライト、99年スペシャルウィークと5戦全勝である。僅かに例外は3人気で3着となった95年ムッ
 シュシケルだがこれは大した馬ではなかった。それほど大賞典勝ちとは意義が大きいのである。1人気
 確実のオペラオーは勝つ！

また95年のライスシャワー以外はすべて前走1着である。前走1着はオペラオーとレオリュウホウし
 かない。阪神大賞典と全く同じ結果になるとは思えない。ラスカルスズカとナリタトップロードが入れ
 替わるような気がしてならない。距離不安はトップロードよりラスカルスズカだと思う。敢えて穴ならス
 テイゴールドだろう。小柄な馬は長距離こなす。

◎テイエムオペラオー ○ナリタトップロード
 △ステイゴールド、ラスカルスズカ

(ラッキーのおけら街道)

先日、久しぶりに競馬ブックを買って読んでいたら、角田騎手の平成3年のオクスでの騎乗について、
 かなり厳しい批判がされていた。確かに勝てたレースであったし、お世辞にも器用な騎手ではないが、現
 役の騎手の行為について、何故10年も経った今になって露骨に批判するのか疑問に思った。

今週は徒然なるままに騎手について書いてみる。

今は昔、筆者が競馬をやり始めて2、3年が経ち、ようやく関東馬と関西馬の違いや岡部の偉大さ、小
 島太の恐ろしさがわかり始めた頃、関西では「武邦の息子」武豊を筆頭に新しい世代の騎手達が脚光を浴
 び始めていた。不器用な南井や地味な河内や最初は誰でも鼻持ちならない田原に変わって、松永幹、武豊、
 岡、藤田、角田、岸、四位といった、それまでの騎手のイメージを払拭する爽やかなルックスと確かな技
 術を兼ね備えた、いわゆる競馬騎手学校出身者達である。

スーパーリーグで豊がオグリを破れば、岸がサンドピアリスとエイシンサニーであっと言わせ、5強
 による史上最強決戦の桜花賞をシスタートウショウで角田が勝てば、オクスで松永が雪辱し、秋には岡
 がリンデンリリーで泣いた。

同時期の関東の若手は、と見てみると岡部と柴政の2大巨頭に大きく水をあけられていた。「岡部軍団」
 と称していた善臣や勝春は岡部のお手馬に乗り替わるとあっさり人気を裏切った。どの馬でも必ず後方か
 ら行く横典、人気馬で決まって出遅れる勝春、藤沢調教師の指示などお構いなしの追い込みバカの橋本広、
 豪腕郷原に「G1も勝っていないのに外車に乗るなど100年速い」と殴られた善臣等々、ウッドチップ
 や坂路調教といった調教技術の差も手伝って、関東(美浦)に未来は無いと思った程であり、事実ことご
 とく関東馬は関西馬にいいようにやられた。

それから10年の時が流れた今、関東では、木刀での殺傷沙汰や父親譲りの豪腕事件等があるものの、
 誰が予想したであろう蛇名の驚くべき上達、善臣の無類の堅実さ、横典の鮮やかな逃げ・先行策、後藤、
 吉田といった血気盛んな成長株達。

一方、関西は天才・岡がこの世を去ってしまったことは本当に残念であるが、豊をトップに松永、藤田
 らが依然としてトップグループを走っており、更には幸、福永、秋山、高橋らの若手の成長も著しい。

武豊が日本を飛び出て、本格的に海外を主戦場にし、岡部は大幅に騎乗数を減らし、ペリエ、デム一口、
 安勝にいいように暴れられてる今、空位になるナンバーワンジョッキーの座に誰が君臨するのだろうか。

第121回 天皇賞

									12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
									ノボエイコーオー	ナリタトップロード	タマモイナズマ	レオリュウホウ	ホツカイルソー	トシザブイ	ジョーヤマト	テイエムオペラオー	トキオアケセル	ステイゴールド	ラスカルスズカ	デナシヤスバイオ	馬名
									小野	渡辺	小原	菊沢徳	四位	河内	須貝	和田	松永幹	熊沢	武豊	武幸	騎手
										◎			△			◎		△	△		ラッキー
										◎		△				◎		△	△		へなりん
										◎			△			◎		△	○		トウインクランド
										△				△		◎		▲	○		心配御無用!
										○						◎			▲		ライスシャワー
										▲						◎		△	○	△	洋二郎
									△	◎					△	◎			△		おけらくん
										◎						◎		△	◎		TP
										◎	△						◎	△			ドロンジョ
									△							◎		◎			ミスターX
										△						△		◎	△		メーブルズ

	天春NHK	高松	オクス	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	エリ	女	マイル	C	JC	阪北	朝日	スプ	S	有馬	フェア	高松	桜花	皐月
ラッキー	○	○		◎	○	○			○	☆	○				○				○				○
へなりん				◎	○	○			○			○			○				○	○			○
トウインクランド	○	○		◎	○	○			○			○			○				○	○			○
心配御無用!	○	○		◎	○	○			○			○			○				○	○			○
ライスシャワー	○				○	○			○			○			○				○	○			○
FELA	○				○	○			○			○			○				○				○
洋二郎	○	○			○	○			○			○			○				○				○
おけらくん	○				○	○			○										○				○
TP	○				○	○			○										○				○
ドロンジョ	○				○	○			○										○				○
ミスターX	○				○	○						○											○
メーブルズ				◎																○	☆		
YO	○				○																		

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~

次号はNHKマイルカップ号です。